

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1272700624 | | |
| 法人名 | 医療法人社団創造会 | | |
| 事業所名 | グループホーム ヴィスタリオ | | |
| 所在地 | 千葉県我孫子市柴崎121-3 | | |
| 自己評価作成日 | 2017/1/ | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 日本ビジネスシステム | | |
| 所在地 | 千葉県市川市富浜3-8-8 | | |
| 訪問調査日 | 平成29年2月15日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>入居者一人一人に合った介護の提供、ご家族様要望により、終末期のあり方を一緒に検討し、話し合いを重ね対応している。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>「グループホームヴィスタリオ」は、デイサービスが併設されており、日頃から交流の機会が多く、入居者の生活活性化に繋がっている。医療面においては、看護師資格のあるホーム長や非常勤の看護職員による適切な医療支援の実施及び健康管理・相談を行っており、入居者・家族・職員の不安解消に繋がっている。法人として働きがいのある職場を目指しており、人事考課・異動希望自己申告書等を行い、個々の意見・希望に配慮した、適切な育成に取り組んでいる。その他にも資格取得の支援制度・勤務年数に応じた旅行券寄与等、福利厚生充実を図る等、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。</p> |
|---|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 理念は各職員に定期的に確認できるように提示している。 | 「いつも笑顔で楽しく、活気のある、自由なその人らしい生活、安心と安らぎのある生活の支援」を施設理念に掲げており、事業所内に掲示している。入職時の研修や会議等を活用して、職員への周知を図っている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 日常的な外出(散歩)時などに挨拶や声掛けが出来ている。また、小中学生のボランティアの受け入れを行っていて、交流に努めている。 | 地域住民とは、外出時等に挨拶や声掛けを交わす等、良好な関係を築いている。地域行事に積極的に参加し、地域との交流を図ると共に、ボランティアの受け入れを通じて、外部との交流機会を確保している。職場体験や実習生の受け入れを行う等、世代間交流や地域貢献にも取り組んでいる。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 職場体験・インターンシップを受け入れている。認知症ケアサポーターとしての支援を行っている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 市の職員や地区の自治会、家族会、法人の幹部、施設職員の出席の元、意見交換を行っている。(2か月に1回) | 運営推進会議は市職員・地域包括支援センター職員・民生委員・自治会員・家族等が参加し、2か月に1回開催している。会議では、施設活動報告や意見・情報交換を行い、施設の理解促進を図ると共に、サービスの質の向上に繋げている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 市の研修会、ケアマネの会議等で情報の交換を行っている。 | 日頃から市とは、運営に関わる相談や報告を行い連携を図っている。また、運営推進会議開催時・研修会参加・会議等を通じて、意見・情報交換を行う機会を設け、地域の課題解決に向け、連携を深めている。 | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 安全対策、虐待防止委員会を設け、定期的な委員会活動を行っている。また、外部研修などにも参加し、参加した職員から他の職員への伝達講習を行う事で共有している。月1回の全体会議では毎回「言葉かけ」の学習会を行なっている。 | 安全対策・虐待防止委員会を設置し、研修・事例検討・共有認識を図ると共に、外部研修の参加や研修報告を行う等、理解徹底に努め、適切なケアの実践に向け取り組んでいる。日中は玄関の施錠は防犯上行ってはいるが、家族の同意も得ており、安全で自由な生活を支援している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 安全対策、虐待防止委員会を設け、定期的な委員会活動を行っている。また、外部研修などにも参加し、参加した職員から他の職員への伝達講習を行う事で共有している。月1回の全体会議では毎回「言葉かけ」の学習会を行なっている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 全職員、研修会・勉強会等で理解している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には十分な時間を取って説明し、不安や疑問点はその都度確認している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年2回の家族会では意見交換をして、家族の不安・要望を聞くようにしている。面会時に書けるように意見箱を設置している。 | 家族の訪問時・電話連絡時・運営推進会議・家族会等を活用し、直接意見・要望等を確認している。また、拳がった意見・要望等においては、会議や連絡ノート等を活用して、職員間で周知・検討の上、適切な改善に努めている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 全体会議、人事考課、法人からのアンケート等で、職員の考えを聞く事が出来る。 | 定期的な会議を開催し、職員からの意見・提案を確認している。また、人事考課・異動希望自己申告を活用し、個々の意見・希望に配慮した、適切な人材育成に取り組んでいる。資格取得の支援制度・勤務年数に応じた旅行券寄与等、福利厚生の実施を図っており、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。 | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 法人全体において年二回の人事考課、個人面接、決算賞与、新年会の開催などがある。また、常勤者は研修旅行として海外研修、非常勤は旅行代がでる。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員全員に外部・内部の研修の参加。介護福祉士の資格が取れるように法人内にあるケアカレッジを勧めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内の委員会活動参加や勉強会などでの交流等、意見交換できている。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居希望時、本人面接を行っている。入居後は職員と他入居者とのかかわりを多く持つ。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 見学時から話を聞いて状況把握に努め、契約時には事前面接を行った本人状態も踏まえた上で、具体的に要望や不安点を聞く。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 困っている点やどう生活していったほしいかなどを本人・家族に聞き、入居して一カ月間のプランを立てて職員全員での対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員は(介護している)ではなく、できる事は自分でしてもらい、出来ない事はいっしょにする。笑ったり、泣いたり、怒ったりの関係を持っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人の状態に合わせて、家族の方との外出・外泊の協力や、面会の声掛け、夏祭りや忘年会など家族参加型の行事を設け主席を依頼している。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族以外の方の面会も自由とし、本人や家族の希望も確認した上で対応をしている。 | 友人・知人・家族等の来訪を随時受け付けると共に、希望に応じて、手紙や電話のやり取りも支援しており、馴染みの人との関係継続に配慮している。また、併設施設の利用者との交流機会も確保しており、馴染みの継続と共に新たな馴染みの関係構築も支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々の状態や相性を把握し、共有スペースの席の工夫を行ったり、一人での時間を好む方も部屋に籠って孤立することが無いよう声をかけている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院・他施設への入居等で退去されても、面会に行ったりと、本人・家族様との関係を続けている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居者個々に担当を決め、その個別担当が中心となって日頃から本人の希望や不安などを聞き取り、本人が望んでいる生活、本人の状態に合った生活が送れるように努めている。 | 契約時に本人・家族から意向・生活歴・身体状況を確認していると共に、医療機関や他サービス事業所からも情報提供を受ける等、より詳細な情報の把握に努めている。また、日頃から家族との信頼関係を大切にし、意見・意向・希望・情報等を得られるよう心掛けている。新たな情報は、会議・記録等で職員に周知しており、情報の共有に取り組んでいる。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前に家族や入居前の担当者などから確認した生活歴、生活状況などを参考にしたり、家族時にも情報を収集している。 | | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 本人の状態と個々に合った過ごし方を考え、本人のペースで生活できるように支援している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日頃から本人や家族から意見や希望を聞いている。個別担当者が中心となって本人の状態のモニタリングを行い、入居者個々のケアカンファレンスを設けて話し合って計画作成している。心身状態が変化したときは見直し前でも変更している。 | 本人・家族の意向を踏まえて、入居者個別担当報告表を基に会議で検討しながら介護計画を作成している。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、必要に応じて、介護計画の見直しを図っている。入居間もない入居者については、短期で検討を行う等、より現状に即した介護計画作成に努めている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の経過をここに記録し、ピックアップして対応を要するものは職員全員が把握できるように提示、情報を共有しながら実践、見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 生け花、書道、音楽活動など隣接したデイサービスで行っている活動への参加や個々の状態に合ったサービスを行っている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティア係を設置、ボランティアを受け入れている。また、年に数回消防署の協力を得て訓練を行っている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前から利用していたかかりつけ医への受診が滞りなく行えるように情報提供を行ったり、必要な時は職員が同行して受診対応している。 | 希望の医療機関への受診及び内科・歯科医の往診を実施しており、適切な医療受診を支援している。また、看護師資格のあるホーム長・非常勤の看護職員・訪問診療の看護師等と連携を図り、適切な健康管理・医療処置・相談等を行っている。他にも、医療関係の連絡ノートを作成しており、職員間の情報の共有・利用機関との情報交換等に活用している。 | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ホーム長(看護師)と非常勤看護師(週二回勤務)、訪問診療の看護師と連携を図り、常に状態を伝達、変化があれば個々に対応できるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院後も定期的に面会を行い、相談員や医師・看護師と連携を図り、情報がもらえるように関係作りしている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 家族から看取りの希望は多くあるが、本人の状態に合わせた説明を行い、話し合いを重ねながら方針を考え、取り組んでいる。 | 終末期・重度化に関する施設方針を契約時に説明し、同意を得ている。必要時に家族・医師・訪問看護師と話し合いを行い、意向に沿った支援実施に向け体制を整えている。入居者の状態変化に合わせて、その都度家族の意向確認を行い、入居者・家族の安心と納得を得られるよう、対応方法の共有を図っている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的な研修、勉強会を開催。急変時のマニュアルを作成して対応できるようにしている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的な訓練を行い、運営推進会議などで地域の方への協力を依頼している。 | スプリンクラー・火災報知器・自動通報機・消火器等の消防設備を設置していると共に、年2回の消防署立会いの避難訓練を実施している。訓練では、消火器訓練・通報訓練等を行っており、状況に応じた避難方法の確認を行っている。運営推進会議等を活用し、避難訓練報告・意見交換を行い、外部への理解促進及び協力の呼びかけを行っている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 入居者全員個々のプライバシーが保てるよう、また、身体拘束廃止委員を中心に言葉かけや対応の研修を定期的に行っている。 | プライバシー保護・接遇等の研修を随時実施していると共に、法人の身体拘束廃止委員会が実施する研修・会議等では声掛け・対応方法の確認等も行っており、職員への理解促進・周知徹底に努めている。各居室に収納・鍵が設置されており、プライバシーの確保に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 個々の状態に合った方法で傾聴を行い、本人の思いを理解できるように働きかけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人に合ったペースで生活出来るように、希望を聞きながら散歩や買い物の声掛けしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 自分で出来る方は自由に、介助が必要な方でも日中は季節に合った普段着・夜間はパジャマに着替える介助を行っている。また、定期的に理容が受けられるように支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 個々の状態に合った食事や、希望を確認しながら定期的な自由メニューを取り入れている。身体状態に合わせて準備、片づけを一緒に行っている。 | 献立作成及び食材の配送を業者に委託しており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。定期的に外食・行事食・特別食・手作りおやつ等を実施しており、入居者の希望を取り入れ、職員のアイデアを生かしたメニューになっており、食の楽しみへと繋がっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | リズム表に記入することで食事摂取量を把握し、月一回の体重測定を行う事で体調管理、量の調整を行っている。 | | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後のうがい、口腔ケアを行っている。定期的な歯科受診にも繋げている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | リズム表を活用し、排泄パターンを把握。個々に合った声掛けをするように声掛けや介助を行うように努めている。立位困難者もポータブルトイレを利用したり、二人介助でトイレを使用したりしている。 | 排泄チェックリストを活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛け・トイレ誘導を行いながら、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、食事メニューの工夫・水分・乳製品の摂取・体操・マッサージ等を行い自然排便を促すと共に、必要に応じて、医師・訪問看護師・薬剤師に相談しながら適切な排便コントロールに努めている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 体を動かすように支援。水分を摂りたがらない方には工夫をして自発的な排便に繋げるように試みている。それでも排便困難な方は医師と連携を図り、薬での調整も行っている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 個々に合った時間、入浴方法を考え、全介助の方でも入浴できるように努めている。 | 入居者の希望や体調に応じて、柔軟に調整しながら適切な入浴機会の確保に努めている共に、清拭・シャワー浴・部分浴等も実施しており、入居者の清潔保持に取り組んでいる。他にも、季節の果物や沐浴剤を活用する等、入浴がより楽しめるような工夫も行っている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 本人の状態を考え、日中も臥床ができるように配慮したり、休息を促している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬剤師による薬剤指導の体制があり、常に相談及び指導を受けている。薬の説明書はファイリングし、常に見ることが出来るようにして把握に努めている。 | | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 入居時に生活歴の情報で個々の楽しみを理解し、対応している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 個々の状態に応じて買い物やドライブ、また、家族との外出を本人の希望でいつでも外出できるようにしている。 | 希望や天候に応じて、散歩・ドライブ・買い物等を実施し、戸外に出る機会を確保している。また、定期的に外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。併設のデイサービスとはレクリエーションや合同行事等で日頃から交流の機会が多く、入居者の生活活性化に繋がっている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人の希望により、お小遣い程度の金額を所持され、買い物などで使えるようにしている。また、必要であればホームで立て替えにも応じている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 事務所の電話が自由に使えるようにしており、自分でかけることが出来る方は使用している。介助が必要な方でも希望があれば対応している。手紙も出来る方は自分で、介助が必要であれば代筆している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 施設内はバリアフリー、車いす対応となっている。浴室も職員が介助できるようなスペースがある。床暖房も取り入れている。 | 共有スペースには、椅子・ソファ・テーブル・和室が設置されており、入居者が自由にくつろげる環境整備がなされている。また、ウッドデッキが設置されており、日向ぼっこやお茶飲みに活用する等、気軽に外の空気を楽しめる環境整備がなされている。温度・湿度計を設置しており、定期的に温度・湿度・空調管理を行い、快適に生活できるよう取り組んでいる。 | |

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個々の好きな場所や日向ぼっこが出来るような場所、気の合った人同士で過ごせるような居場所の工夫をしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に使っていた家具などの持ち込みして頂いたり、好んでいた本や写真なども飾れるようにしている。 | 希望に応じて、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるように配慮している。また、テレビやポータブルトイレの設置・畳や布団を敷く事も可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。各居室に鍵・収納スペースが設置されており、プライバシーの確保に配慮している。一部の居室には洗面台が設置され、利便性に配慮されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 共有スペースには手すりの設置、居室には表札、浴室、トイレなどのドアには分かりやすいように表示をしている。 | | |